

関東ミズベリング勉強会(第10回)意見交換会

日時：2020年1月15日(水) 13:15~17:15

場所：さいたま新都心合同庁舎2号館5階大研修室5A

主催：国土交通省関東地方整備局

プログラム

1. RiverCycRingProject最初の取り組み

関東RiverCycRingステージの開催結果と今後の期待

土木技術資料2020年1月号 まちづくりに水辺を賢く取り入れよう

【関東地方整備局河川環境課 黒沼課長補佐】

2. 特別賞入賞プランの紹介：

1) 『フラットサイクリング～平坦な道×気軽にふらっと～』

優秀賞3位、野田市長賞

【立教大学／漕いで埼玉】

2) River Girls 『River CycRing～花×乗り物～』

優秀賞2位、JTB賞

【跡見学園女子大学／村上ゼミ】

3) さいたま市シェアサイクル普及事業実証実験

【Open Street株式会社 工藤執行役員】

4) 『3CO-PLAN～あなたを癒す大きなハートOASIS WATARASE～』

観光庁長官賞、渡良瀬遊水地・思川かわまちづくり賞、オーディエンス賞

【明治大学／木寺ゼミナール】

モニターツアー造成体験学習の取り組み状況

【東武トップツアーズ 地域創生・自治体事業推進担当 望月副部長】

3-1. ミズベでつなぐ 観光まちづくりへの取り組み

渡良瀬遊水地を核としたRiverCycRingへの誘客

【東武鉄道 経営企画本部安 齋課長補佐】

3-2. 防災施設でインフラツーリズム：首都圏外郭放水路の役割

台風19号での出水対応、新設した3つの見学プラン。高いプランから予約が埋まる！？

【江戸川河川事務所 岩崎副所長】

国の防災施設を官民連携で世界一の観光資源に育てる

【東武トップツアーズ 地域創生・自治体事業推進担当 望月副部長】

3-3. 官民連携し隅田川を中心とした水辺を整備

北十間川や隅田公園で賑わい空間を創出【墨田区都市整備部都市整備課 根岸課長補佐】

浅草・東京スカイツリーを結びエリアの回遊性向上

【東武鉄道 まちづくり推進統括部 塩谷主任】

4. 関係者意見交換会(取り組み状況報告)

進行：関東地方整備局河川環境課 黒沼課長補佐

パネラー：各地域のそれぞれの取り組み状況や今後の期待等も紹介

立教大西川助教、跡見学園女子大村上准教授、早川広域水管理官

さいたま市、小山市、野田市、春日部市、墨田区、講演者

※取り組みにあわせて常に時点修正しているので講演者、テーマが一部変更になる場合がありますのでご了承ください。

ミズべでつなぐ 観光まちづくりへの取り組み

東武線がつなぐRiverCycRingへの誘客

＜自転車活用推進施策＞

シェアサイクルを活用した街なか回遊性の向上
自治体・公共交通機関等が連携した誘客強化

栃木市・小山市・野木町
(渡良瀬遊水地・思川かわまちづくり賞)

～エコ・アグリツーリズムの推進～

東武日光線

春日部市
(首都圏外郭放水路)

東武
アーバンパークライン

さいたま市

野田市

さいたま市自転車の
まちづくり推進条例

平成31年(2019年)4月1日施行

東武スカイツリーライン

隅田川を中心とした水辺環境の整備

浅草・東京スカイツリー

年間3,000万人以上が訪れる浅草と東京スカイツリータウンの2大観光拠点を繋ぐ事業



『 River CycRing Project 』 = [River + Cycling + Ring] Project

～ 旅してたのしい！ みんなでつくる！ River CycRing ～

関東全域には河川沿いにサイクリングロードがたくさんあります。
それらのサイクリングロードは“信号もなく、一般車も通らない”だけが魅力ではありません。
河川の周りには、すばらしい“生態系・歴史・にぎわい・癒やし”もたくさんあるんです。

そんな“川の魅力”を、ゆっくり・たのしく発見できるサイクリングロードを、
みんなでつくっていく『River CycRing Project』に参加してみませんか？

これから、River CycRing Projectで実現したいことは・・・

- ⑦ スポーツサイクルも・ママチャリでも・キッズサイクルまで。みんながたのしい自転車体験！
- ⑦ 地元の川で。家族でのんびり癒やしのポタリング！
- ⑦ 足を伸ばして海・山・遠くの川まで。“ちょい泊”しながら知識と健康を磨く自転車旅！
- ⑦ 人だけじゃ無い、生き物の暮らしも知る。生態系ネットワークを自転車で繋ぐ旅！
- ⑦ 歴史の積み重ねを実感。河川と街の歴史遺産を巡る旅！
- ⑦ 河川の周りのにぎわいを体感。ミズベリング・かわまちづくりを巡る旅！
- ⑦ ペダルの回転も川の流れもゆっくり。自然の刺激と水空間に癒やされる旅！

ドイツネッカー川沿いの古城サイクリングロード

長閑な、癒やしを満喫するサイクリスト

愛知県西尾市 自転車を押しながら桜を愛でる

ドイツ ライン川沿いに展開するサイクリングロード

http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/river_chiiki00000052.html



～RiverCycRing で観光まちづくり～



○水辺の美しい自転車道を “楽しむ”

→水辺で楽しむ人を増やす

○河川と街を “結ぶ”

→水辺で街を変える人を増やす

○にぎわいのある拠点を “つくる”

→水辺で新しいビジネスを作る人を増やす



○ River CycRing Project

→MIZBERING Project

River CycRing Project発起人会【R1.5.31】

最初の取り組みとして大学生観光まちづくりコンテスト2019に関東RiverCycRingステージを誘致しています。

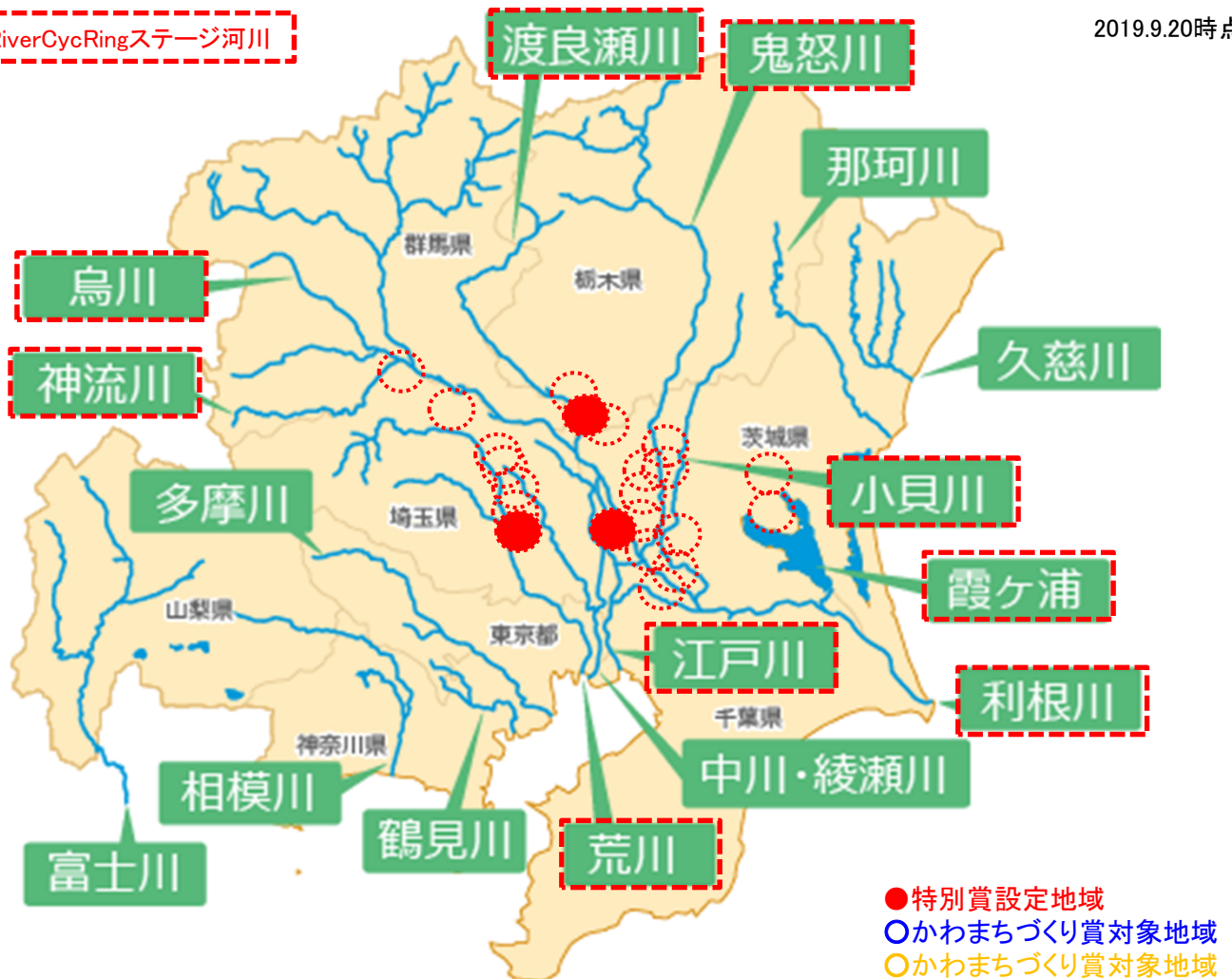
http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/river_chiiki00000057.pdf

関東RiverCycRingステージ対象地域位置図

http://www.ktr.mlit.go.jp/ktr_content/content/000748800.pdf

関東RiverCycRingステージ河川

2019.9.20時点



関東RiverCycRingステージ参加自治体

【22市町】

茨城県：取手市、かすみがうら市、石岡市、

筑西市、結城市、つくばみらい市、守谷市、八千代町、下妻市、常総市

(鬼怒川・小貝川かわまちづくり計画実施中7市町連名)

栃木県：小山市、栃木市、野木町

(渡良瀬遊水地・思川かわまちづくり 3市町地域)

埼玉県：上里町、さいたま市、桶川市、鴻巣市、北本市、上尾市、熊谷市

千葉県：野田市、我孫子市

River CycRing Project発起人会【R1.5.31】http://www.ktr.mlit.go.jp/river/chiiki/river_chiiki00000057.pdf



発起人自治体代表者・来賓・関東地方整備局幹部 集合写真

発起人自治体

茨城県 筑西市
かすみがうら市
取手市
結城市
五霞町
栃木県 小山市
埼玉県 さいたま市
上里町
桶川市
鴻巣市
北本市
上尾市
熊谷市
千葉県 野田市
我孫子市

「関東・東北豪雨」の年の栃木・小山・野木の水害被害総額は約34億円（総務省統計局）
緑道の創出や屋上緑化の設置により水害被害額の10%を軽減。
日本政策投資銀行「都市を創りかえるグリーンインフラ」（2018年）

跡見学園女子大学・村上ゼミ River Girls提案プラン

『River CycRing ～花×乗り物～』



2019年10月27日さいたまサイクルフェスタ

チーム名	村上ゼミ2年	大学・学部	跡見学園女子大学 観光コミュニティ学部	関東RiverCycRing ステージ
プラン名称	River CycRing ～花×乗り物～			
リーダー名	本間麗奈	テーマ	River CycRingで「観光まちづくり」	・優秀賞（2位） ・JTB賞
指導教職員名	村上雅巳			
メンバー名	大井真生穂 大栗知華 佐藤純夏			

1.現状

選定地域
芝川・見沼代用水エリア

強み

- 〇東京都心から20～30km圏内
- 〇大宮、さいたま新都心、浦和、岩槻など
- 〇さいたま市内の主要な駅から約2kmで自然が楽しめる
- 〇美しい風景と歴史が感じられる

弱み

- 〇魅力を活かしきれていない
- 〇交通の便がよいからこそ東京や地方への通り道に…
- 〇駅から見沼代用水に行く手段が少ない、歩くと遠い
- 〇大宮、浦和、さいたまスーパーアリーナに人が大勢来ても見沼代用水エリアの周辺に結びつかない

2.①ターゲット②コンセプト

①関東近郊住みのファミリー！

②都会のイメージを覆す
「首都圏にいながら自然を楽しむ」
旅行の中心地に！

さいたま市民以外の知り合い約70人にアンケートQ週末に家族出かけた思い出ありますか？「はい」→72.9%

3.プラン

4つのコンテンツで芝川・見沼代用水エリアをCYCLING！！

「花×乗り物」

- 〇10区の花を植えてサイクリングを楽しむ見沼通船堀の文化と緑のヘルシーロードを活かす
- 〇HELLO CYCLINGを利用して、サイクリングロードを巡る
- 〇子供に人気の鉄道博物館で歴史を学ぶ
- 〇見沼通船堀・舟運の歴史を小学生から学ぶ

さいたま市の花をブランド化

年貢米などの代わりにさいたま市の花、季節の花を自転車に乗る

サイクリングロード沿いに花を植える

サイクリングロードを走る

緑のヘルシーロード(芝川)や見沼代用水が観光の中心地に！！

東京オリンピック参画プログラムになっている「見沼通船堀開門開演」

地元の小学生が観光客へ舟運や見沼代用水について説明する

観光客に知ってもらえ、現地の人と観光客の交流も図れる！

4.メリット

花

- 〇見沼代用水沿いに花を植えることによって不法投棄が減ると考えられる
- 〇見沼通船堀・舟運文化の学びを活かせる
- 〇自分たちで自然を創りだすことで自然を大切に心が芽生える
- 〇さいたま市の区の花や季節の花を知る機会になる

乗り物

- 〇日本有数の鉄道の博物館で鉄道について学ぶことができる
- 〇通船堀の歴史を学びそれを活かすことができる
- 〇東京オリンピックに関連付けることによって注目度が高くなる
- 〇地元の子供の案内により、観光客と地域の人々とのコミュニティが生まれる

5.PR方法

- 〇SNSを使う
- 〇さいたま市役所のアカウントで投稿
- 〇#花×乗り物を使用
- 〇さいたま市公式HPに掲載
- 〇「市報さいたま」に掲載
- 〇駅の観光案内所に掲示
- 〇さいたま市のゆるキャラ「又ウ」がVtuberになり、さいたまの魅力を配信

6.組織図

さいたま市 × 跡見学園女子大学 村上ゼミ

見沼代用水 土地改良区

協力して全体の運営を行う 跡見生も全力でサポート

立教大学・漕いで埼玉チーム提案プラン

『フラットサイクリング ～平坦な道×気軽にふらっと～』



野田市長との懇談会（11/14）



チーム名	漕いで埼玉	大学・学部	立教大学観光学部 観光学科/交流文化学科	関東RiverCycRing ステージ
プラン名称	フラットサイクリング ～平坦な道×気軽にふらっと～			
リーダー名	清澤風歌	テーマ	RiverCycRingで「観光まちづくり」	・優秀賞（3位） ・野田市長賞
指導教職員名	西川亮			
メンバー名	清澤風歌・遠藤健斗・山口紗奈・工藤愛恵・江上ふく			

フラットサイクリング ～平坦な道×気軽にふらっと～

対象地：千葉県野田市
実施場所：清水公園から関宿城までのサイクリングロード

現状：サイクリストしかいない閑散としたサイクリングロード

私たちの思い：サイクリングは楽しい！
多くの人に気軽に漕いでもらいたい

ターゲット：清水公園の利用者
→アウトドア志向でサイクリングに親和性高い

コンセプト： 誰でもふらっとサイクリング

プラン内容：
サイクリングロード沿いに
「楽しみ」・「目的」になれるものを点在させ、サイクリングへの精神的ハードルを下げる

3エリアに分けてのサイクリング提案
→個人の体力や興味に合わせて選択

新規性：サイクリングは「走ること自体を楽しむ」という概念を壊し、
楽しみや目的、ゴールがあるからより気軽に楽しくサイクリングができると考えた点

実現計画：
①レンタサイクルの貸し出し
②小さな楽しみの仕掛け作り
③コミュニティの拠点となるカフェづくり
④舟運の運航

経済効果：5760万円（レンタサイクル・カフェ・船）※清水公園の利用者の10%がレンタサイクル利用と想定



民間運営見学システム(首都圏外郭放水路)

<http://www.ktr.mlit.go.jp/edogawa/gaikaku/>

<http://www.tobutoptours.co.jp/newsrelease/pdf/information/20190226.pdf>



国の防災施設を官民連携で世界一の観光資源に育てる
前回3.5万人を動員※した「民間運営見学システム」

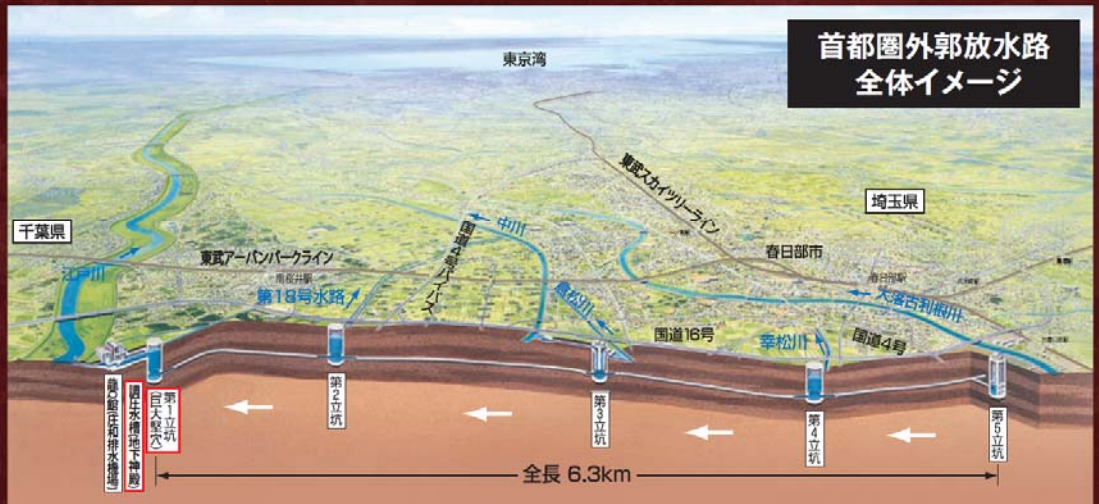
首都圏外郭放水路

より一層 魅力を磨き上げて『**深化**』を遂げた
社会実験(第2弾)が3月23日から始まります！

※H30.8～H30.12に実施した社会実験の見学会参加者

首都圏の地底50mを流れる世界最大級の地下河川「首都圏外郭放水路」

中川・綾瀬川の流域は、昔から浸水被害に悩まされてきた地域です。現在でも、利根川・江戸川・荒川の大河川に囲まれ、水がたまりやすい皿のような地形になっています。首都圏外郭放水路は、洪水を地下放水路にため排水する施設です。国道16号の地下約50mに建設されました。水を地下に取り込む「立坑」・水を流していく「トンネル」・水勢を弱めスムーズな流れを確保する「調圧水槽」・水を吐き出す「ポンプ設備」などで構成されています。

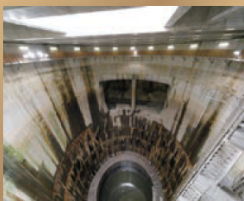


首都圏外郭放水路
全体イメージ

選べる3コース 壮大なスケールを体感できる見学会を開催

迫力満点! 立坑体験コース

- ◆定員: 20名
- ◆所要時間: 約110分
- ◆料金(お一人様): 3,000円



おすすめ!

深さ70メートルの堅穴を歩く

神秘的な地下神殿「調圧水槽」と圧倒的な迫力の巨大堅穴「第1立坑」。首都圏外郭放水路の2大ハイライトを堪能できる欲張りなコース。安全帯&ヘルメット装着で深さ70メートルの第1立坑の最上部を歩く大迫力の体験ができるおすすめコースです。

深部を探る! ポンプ堪能コース

- ◆定員: 20名
- ◆所要時間: 約100分
- ◆料金(お一人様): 2,500円



機械好きの方必見!

日本国内唯一のポンプ設備

地下神殿「調圧水槽」に貯まった水を江戸川へ排出する巨大ポンプが4台並ぶ「ポンプ室」、航空機用が開発されたものを改造した特殊ガスタービンの機械部まで見学する貴重なコース。※ポンプ稼働時はガスタービン部の見学はできません。ご了承ください。

気軽に参加できる! 地下神殿コース

- ◆定員: 50名
- ◆所要時間: 約55分
- ◆料金(お一人様): 1,000円



ご家族や友人同士で気軽に参加できます!

地下神殿「調圧水槽」をメインに、首都圏外郭放水路の見どころをギュッと凝縮した所要時間約60分のコース。専属の放水路案内のプロ「地下神殿コンシェルジュ」がご案内します。定員50名なので団体様での見学にもおすすめです!



公益社団法人 日本観光振興協会
全国観光情報データベース(観るなび)に
産業観光施設に登録されました。

<http://www.nihon-kankou.or.jp/detail/11214ae3342108458>

北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業

https://www.city.sumida.lg.jp/sangyo_matidukuri/matizukuri/kasen_kyouryou/KitajukkengawaSumida.html

事業概要

引用: 墨田区HPより

本事業は、北十間川西側区間(枕橋から東武橋付近まで)において、2020年東京オリンピック・パラリンピックを見据えた東京スカイツリー・浅草間の賑わい創出と観光回遊性向上を目的に、水辺を中心とした鉄道高架下、北側区道、隅田公園(南側の一部)の一体的な整備及びまちづくりを行う事業です。

また、本事業は、関係者(地元5町会・4商店会、墨田区観光協会、東武鉄道株式会社、東京都)及び芝浦工業大学工学部建築学科志村研究室との協働により行っています。

平成28年1月から約2年間実施した「北十間川の水辺活用に向けた勉強会」における関係者間での整備イメージの議論を経て、平成30年3月17日には「北十間川水辺活用協議会」を発足し、整備後の利活用・管理運営に向けて継続的に検討を進めています。



本事業の問合せ先

部署: 墨田区 都市整備部 都市整備課 都市整備・河川担当

電話: 03-5608-6294

2019年6月25日発表より
墨田区・東武鉄道株式会社

http://www.tobu.co.jp/file/pdf/a012df19dbadd0d8cf36109f20904423/190625_2.pdf?date=20190625132959

墨田区・東武鉄道が官民連携し隅田川を中心とした水辺を整備
浅草・東京スカイツリー®を結び、エリアの回遊性向上を図ります
～北十間川や隅田公園でにぎわい空間を創出、隅田川に歩道橋を新設～

<官民連携による具体的事業(2020年春 供用開始 ※一部を除く)>

① 北十間川・隅田公園観光回遊路整備事業



② 隅田川橋梁歩道橋新設

さいたま市 自転車のまちづくり

引用:さいたま市HPより

<https://www.city.saitama.jp/001/010/018/001/001/index.html>

「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはーと～」

計画の柱

「たのしむ」

自転車を活用して
余暇を充実させる取組



国際サイクルレース



コミュニティサイクル

「まもる」

自転車の正しい利用の仕方
を身に付けてもらう取組



交通安全教室



スケアード・ストレイト

「はしる」

自転車通行環境や快適な
利用を推進するための取組



ネットワーク整備



電動アシスト普及

「とめる」

自転車駐輪環境を
充実させる取組



駐輪場整備



放置自転車対策

「自転車のまちづくり」を積極的に推進していくため、自転車政策の柱である「たのしむ」、「まもる」、「はしる」、「とめる」という視点から、自転車に関する様々な取組を総合的にとりまとめる「自転車まちづくりプラン～さいたまはーと～」を策定いたしました。

本計画では、自転車の位置づけを明確化し、更なる自転車利用の促進、歩行者の安全確保を図り、本市の魅力と活力向上に資することを目的としています。

<https://www.city.saitama.jp/006/008/002/012/004/013/p045500.html>

さいたまはーと推進協議会

本市の、自転車を活用したまちづくりの総合的な計画である、「さいたま自転車まちづくりプラン～さいたまはーと～」を推進していくため、市民・事業者・行政が連携し、効果的かつ効率的な事業を実施することを目的に、さいたまはーと推進協議会を設置いたしました。

シェアサイクル普及事業実証実験

民間事業者を平成30年8月に公募し、「HELLO CYCLING」のブランド名で市内でシェアサイクル事業を展開している、OpenStreet株式会社を参画事業者として決定しました。

<https://www.city.saitama.jp/001/010/018/001/001/p062955.html>



<https://www.city.saitama.jp/001/010/018/001/001/p064058.html>

さいたま市自転車の まちづくり推進条例

平成31年(2019年)4月1日施行